



【証券コード：9651】

日本プロセス株式会社 決算説明会

2022年5月期



2022年7月19日

1. 2022年5月期 連結決算について

2. 第6次中期経営計画の取組み

3. 2023年5月期 重点取組みテーマ

4. 2023年5月期 連結数値計画

1. 2022年5月期 連結決算について

2. 第6次中期経営計画の取組み

3. 2023年5月期 重点取組みテーマ

4. 2023年5月期 連結数値計画

2022年5月期 連結決算の概況

単位：百万円

	期首 計画	計画 対比	実績	前年 対比	前年
売上高	7,870	+77 +1.0%	7,947	+303 +4.0%	7,643
営業利益 (利益率)	705 (9.0%)	+70 +10.0%	775 (9.8%)	+73 +10.5%	701 (9.2%)
経常利益 (利益率)	745 (9.5%)	+63 +8.5%	808 (10.2%)	+4 +0.6%	803 (10.5%)
当期純利益 (利益率)	500 (6.4%)	+32 +6.6%	532 (6.7%)	▲11 ▲2.1%	544 (7.1%)

売上高

前年対比： +303百万円 (+4.0%)

上半期は大規模案件の立上げ遅れも、下半期に取り戻し計画を達成

営業利益

前年対比： +73百万円 (+10.5%)

プロジェクト管理の強化による不採算プロジェクトMin化による

経常利益

前年対比： +4百万円 (+0.6%)

保険解約返戻金の減少等による

当期純利益

前年対比： ▲11百万円 (▲2.1%)

法人税及び法人税等調整額による

- 東証市場再編

JASDAQからスタンダード市場への移行

- 株主への還元

上場30周年記念配当 5 円を加え、年間配当33円(前年27円)

- 社員への還元

業績連動賞与は5期連続最高額を更新

- 採用活動

Webを活用した会社説明会、採用試験・面接を実施し、
32名採用

● ESG投資

- ・ 第63回日本学生支援債券
- ・ 東京都公募公債（第5回東京グリーンボンド）

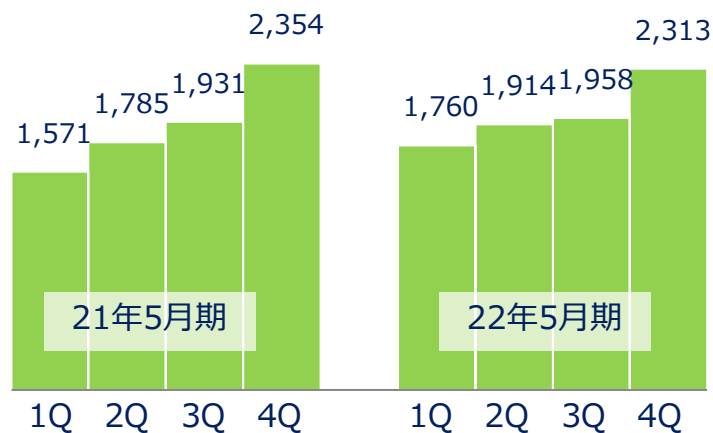
● CSRの一環として、税引後利益の1%を目途に
2団体への寄付を継続

- ・ 公益財団法人 SBI子ども希望財団
- ・ 特定非営利活動法人 Reach Alternatives

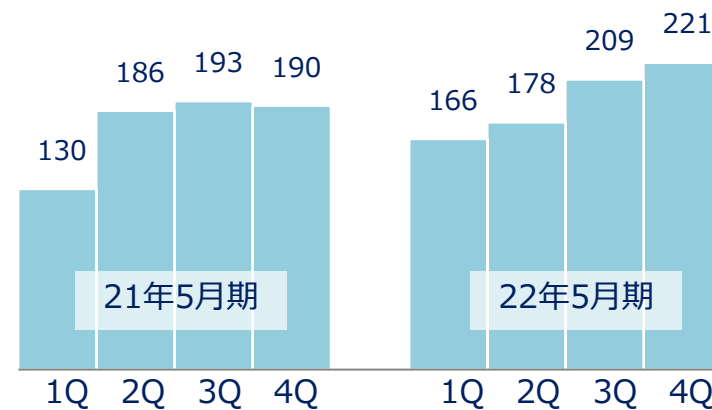
2022年5月期 連結決算の概況（四半期推移）

単位：百万円

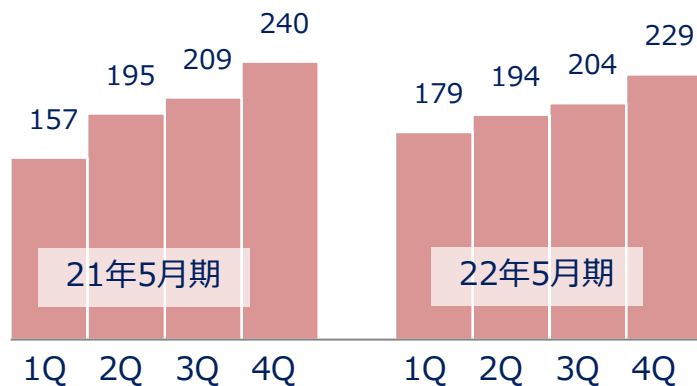
売上高



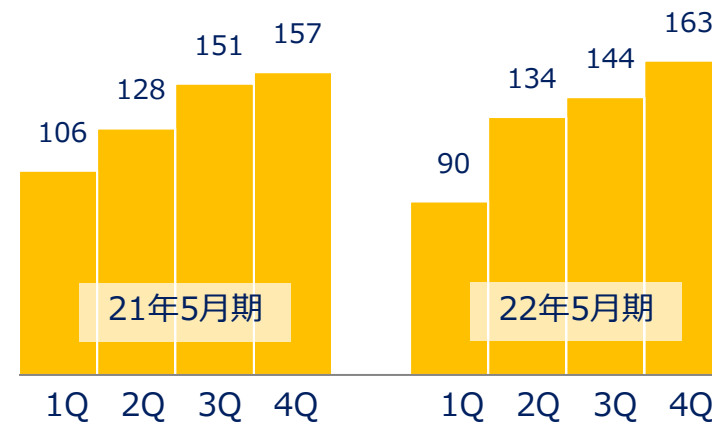
営業利益



経常利益



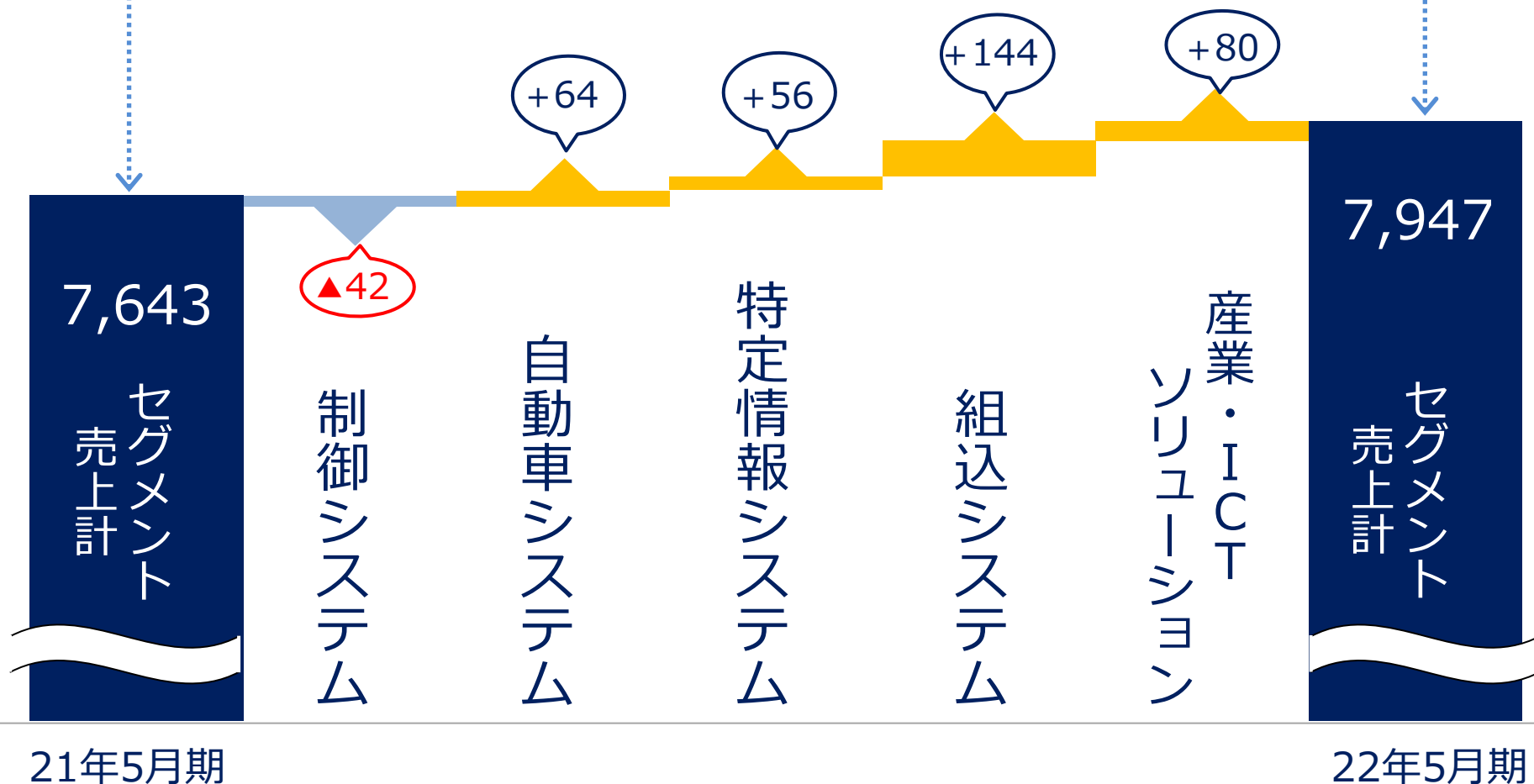
当期純利益



2022年5月期 セグメント別売上増減

単位：百万円

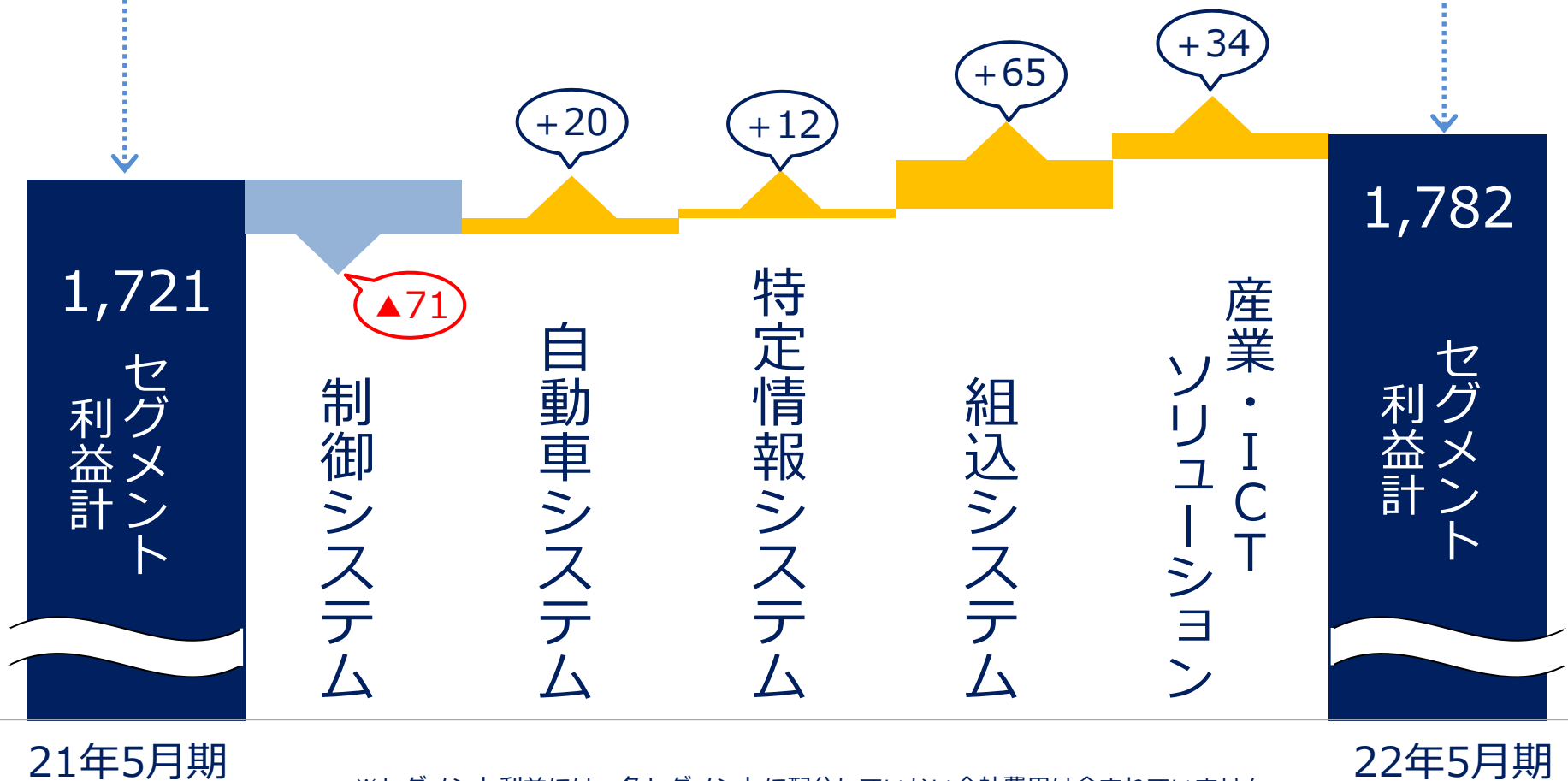
303百万円の増加（前年同期比：+4.0%）



2022年5月期 セグメント別利益増減

単位：百万円

60百万円の増加（前年同期比：+3.5%）



※セグメント利益には、各セグメントに配分していない全社費用は含まれていません。

制御システム

- 火力発電所向けは減少も、再生可能エネルギーの大規模案件を請負受注し好調
- 在来線の運行管理は第4四半期に作業量が減少
- ATOSは次期リプレースが開始
- 新幹線、海外高速は横ばい

単位：百万円

セグメント		21年5月期 (利益率)	22年5月期 (利益率)	増 減 (増減率)
制 御 シ ス テ ム	売上	1,451	1,408	▲42 (▲2.9%)
	利益	401 (27.7%)	330 (23.4%)	▲71 (▲17.8%)

※セグメント利益には、各セグメントに配分していない全社費用は含まれていません。

自動車システム

- AD/ADAS関連はコロナ禍の影響や端境期のため縮小
- 電動化案件は開発規模が拡大し好調
- 車載情報はクラスターメーターを新規受注
- パワートレイン制御は横ばい

*AD/ADAS：自動運転/先進運転支援システム

単位：百万円

セグメント		21年5月期 (利益率)	22年5月期 (利益率)	増 減 (増減率)
自動車システム	売上	1,806	1,871	+64 (+3.6%)
	利益	469 (26.0%)	490 (26.2%)	+20 (+4.4%)

※セグメント利益には、各セグメントに配分していない全社費用は含まれていません。

特定情報システム

- 画像認識/識別は衛星画像関連とAD/ADAS関連が好調
- 危機管理は大規模案件を請負受注し、体制を拡大して堅調

単位：百万円

セグメント		21年5月期 (利益率)	22年5月期 (利益率)	増 減 (増減率)
特定情報システム	売上	682	739	+56 (+8.2%)
	利益	153 (22.5%)	165 (22.4%)	+12 (+8.0%)

※セグメント利益には、各セグメントに配分していない全社費用は含まれていません。

組込システム

- ストレージデバイスは既存製品、新ストレージ開発とも担当範囲を拡大し好調
- IoT建設機械は開発案件の谷間となり減少
- 前期実施した体制強化により売上、利益率向上

単位：百万円

セグメント		21年5月期 (利益率)	22年5月期 (利益率)	増 減 (増減率)
組込システム	売上	1,078	1,223	+144 (+13.4%)
	利益	219 (20.3%)	284 (23.3%)	+65 (+29.8%)

※セグメント利益には、各セグメントに配分していない全社費用は含まれていません。

産業・ICTソリューション

- 航空宇宙関連の大規模案件で体制を拡大し好調
- システム構築関連はクラウドシステム構築と開発環境構築の増加で好調
- 鉄道関連はコロナ禍の投資抑制で減少

単位：百万円

セグメント		21年5月期 (利益率)	22年5月期 (利益率)	増 減 (増減率)
産業・ICT ソリューション	売上	2,624	2,705	+80 (+3.1%)
	利益	476 (18.2%)	510 (18.9%)	+34 (+7.1%)

※セグメント利益には、各セグメントに配分していない全社費用は含まれていません。

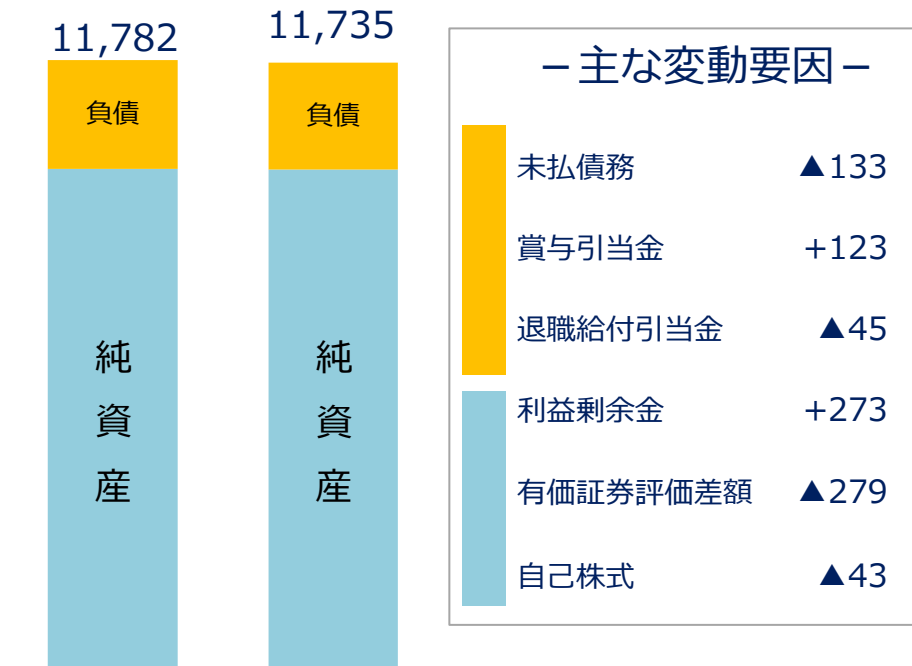
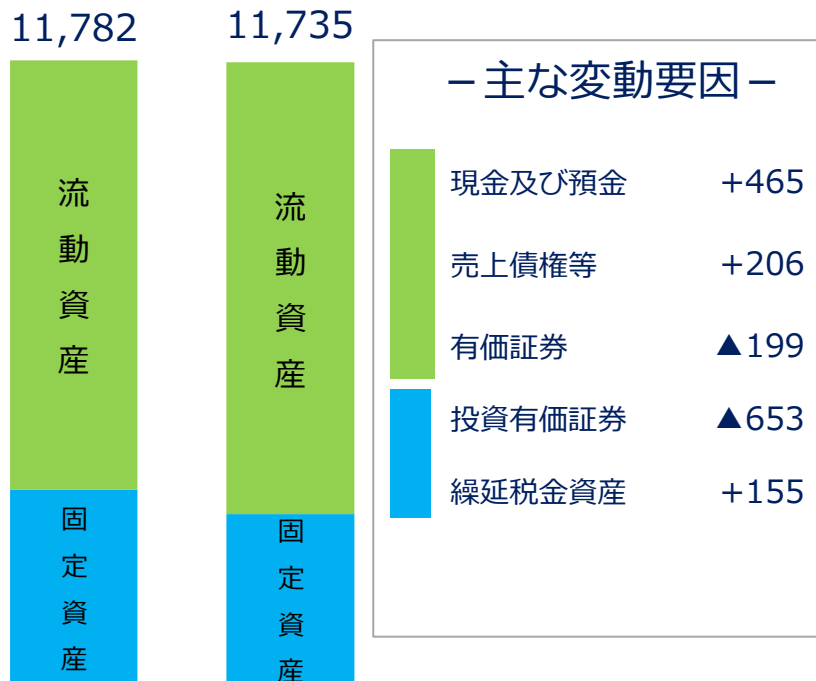
資産の部

負債/純資産の部

単位：百万円

資産：46百万円の減少

負債：42百万円の減少
純資産：4百万円の減少



21年5月期末 22年5月期末

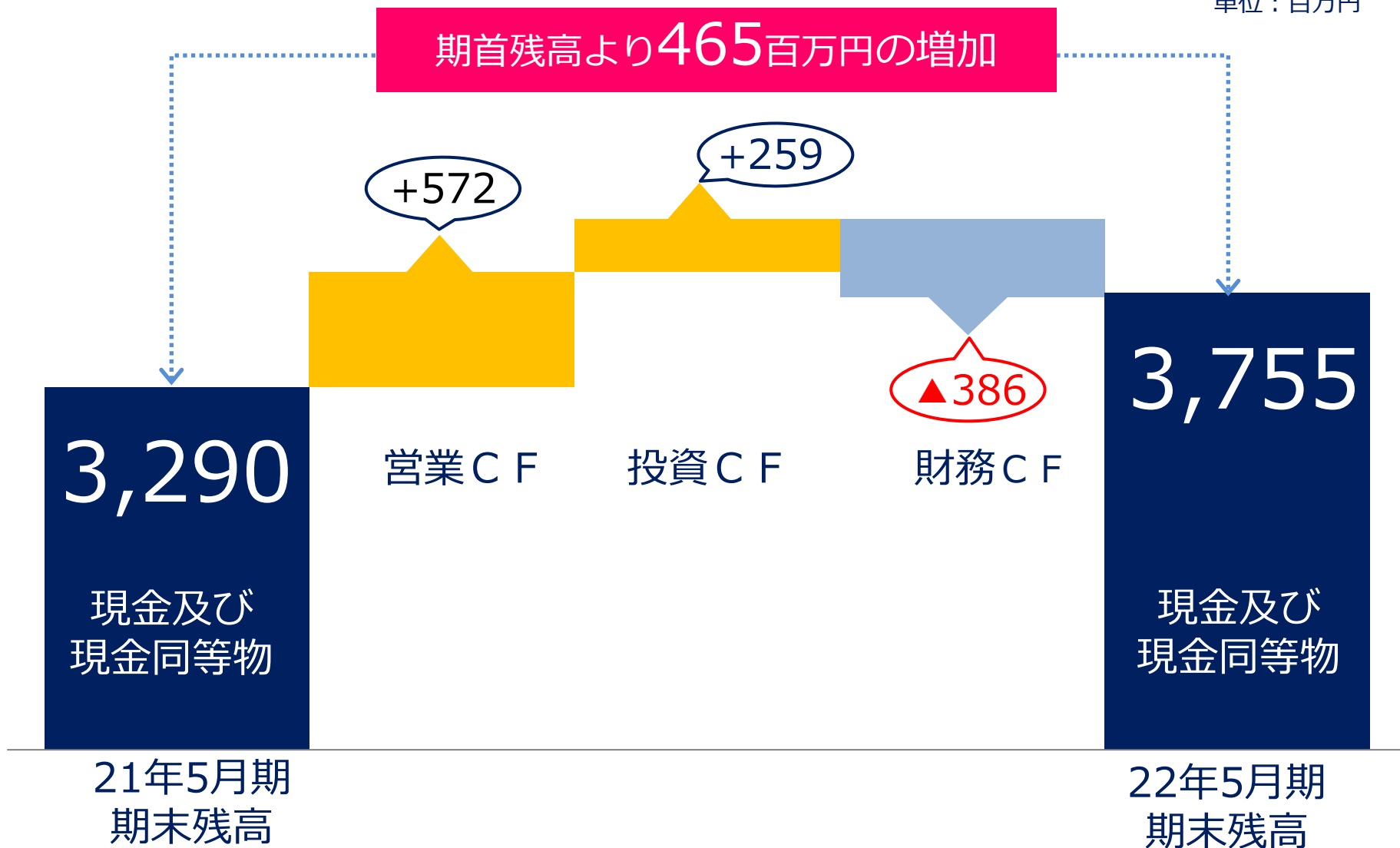
21年5月期末 22年5月期末

財務指標（その他）

	21年5月期	22年5月期
純資産額	9,675百万円	9,671百万円
1株当たり純資産	999.9円	1,002.9円
1株当たり当期純利益	56.3円	55.6円
自己資本比率	82.1%	82.4%
自己株式	968,505株	1,000,926株
従業員数	676人	674人

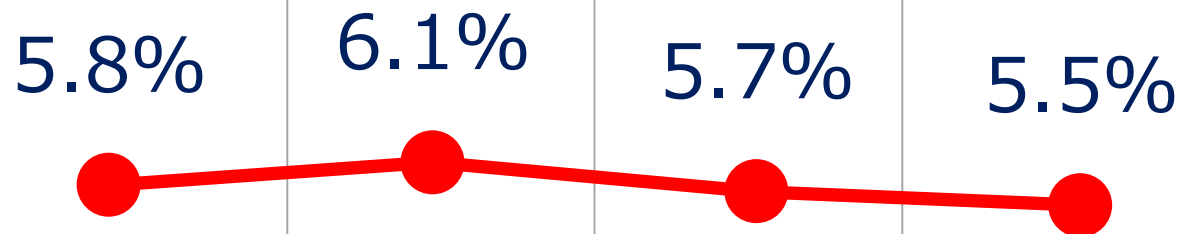
2022年5月期 連結キャッシュ・フローの状況

単位：百万円



※22年5月期期末残高は、為替変動による増加分19百万円を含んでおります。

自己資本利益率（ROE）の推移



	19年5月期	20年5月期	21年5月期	22年5月期
1株当たり当期純利益(円)	51.1	57.4	56.3	55.6
1株当たり純資産(円)	896.6	973.0	999.9	1002.9
当期純利益(百万円)	501	558	544	532
純資産額(百万円)	8,822	9,396	9,675	9,671

1. 2022年5月期 連結決算について

2. 第6次中期経営計画の取組み

3. 2023年5月期 重点取組みテーマ

4. 2023年5月期 連結数値計画

中期経営ビジョン

ソフトウェアで
社会インフラ分野の安全・安心、快適・便利に貢献する。

第6次中期経営計画 基本方針

1. 人材育成のための大規模案件請負の推進
 - ①大規模案件受注に向けた営業力強化
 - ②新規設計力の向上
 - ③マネージメント力の向上
2. トータル・ソフトウェア・エンジニアリングサービス (T-SES) のトータル度向上

1. 人材育成のための大規模案件請負の推進

①大規模案件請負受注に向けた営業力強化

部門間の営業連携と本社の営業支援を強化し、大規模案件の請負を狙う。

②新規設計力の向上

大規模案件等で、新規設計する機会をより多く創出し、新規設計力の向上を図る。

③マネージメント力の向上

大規模案件等で、プロジェクトをマネージする機会をより多く創出し、マネージメント力の向上を図る。

2. T-SESのトータル度向上

長期的な取組であるT-SESのテーマとして、各分野でトータル度を向上し、顧客へのサービス価値を拡大する。

1. 人材育成のための大規模案件請負の推進

- エネルギー分野の大規模案件は成果あり、次を模索
- 危機管理分野と航空宇宙分野の大規模案件は事業本部・PMOが監督・支援し、プロジェクトを推進

2. T-SESのトータル度向上

- AD/ADAS基本ソフトで車種展開の一括請負を模索し体制強化
- 在来線運行管理は操作端末のツール開発、製造プロセス整理

1. 2022年5月期 連結決算について

2. 第6次中期経営計画の取組み

3. 2023年5月期 重点取組みテーマ

4. 2023年5月期 連結数値計画

【1】賃上げの実施

- ・待遇改善と競争力維持のため、昇級分とあわせて
全社平均約3%アップ

【2】譲渡制限付き株式（RS）の付与

- ・経営参画意識向上、株主との価値共有を目的に、全社員
を対象として希望者へ200株/人(計101,200株)付与

【3】賞与評価制度の改訂

- ・社員のモチベーションの向上を狙い、業績連動賞与の
評価制度を改訂



中長期的な業績拡大と企業価値向上を狙う

制御システム

- ・再生可能エネルギー、電力グリッドで大規模案件請負受注
- ・ATOS、新幹線で大規模案件請負受注
- ・在来線はコロナ禍による谷間も、システム一括受注に向け準備
- ・制御システムのWeb化やAI導入へ対応強化、育成

自動車システム

- ・AD/ADAS基本ソフトの車種展開時の一括請負受注
- ・電動化案件やAD/ADASのアプリケーション開発拡大
- ・モデルベース開発へ対応強化、育成
- ・車載情報はクラスターメーター開発完遂と次期案件の獲得

特定情報システム

- ・ 危機管理分野の大規模案件請負を完遂
- ・ 公共システム分野の新規顧客開拓、受注
- ・ 画像認識/識別、AI分野の作業フェーズ拡大、請負化
- ・ Web、クラウドへの対応強化、育成

組込システム

- ・ 活況のストレージは既存分野で人材育成し新分野へ展開、拡大
- ・ コア技術を武器に新規顧客開拓、受注
- ・ IoT建設機械は実績を積み上げて次の拡大期を狙う
- ・ FW技術者、リーダー育成を加速

産業・ICTソリューション

- ・ 航空宇宙関連の大規模案件請負を完遂
- ・ 鉄道子会社向けは請負案件の完遂と次案件の受注
- ・ 社会インフラ分野は駅務機器の継続受注と新分野の開拓
- ・ システム構築分野はクラウド、仮想化で拡大

1. 2022年5月期 連結決算について

2. 第6次中期経営計画の取組み

3. 2023年5月期 重点取組みテーマ

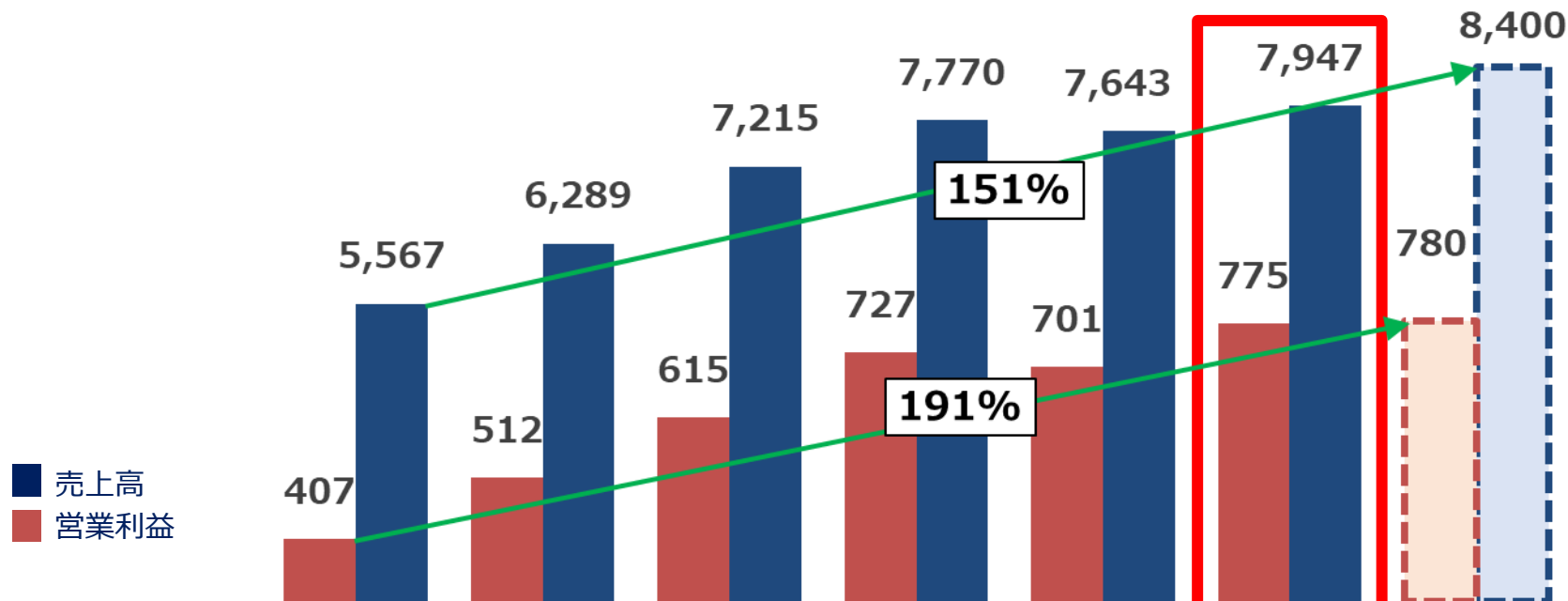
4. 2023年5月期 連結数値計画

2023年5月期 連結数値計画

単位：百万円

	22年5月期 実績	23年5月期 計画	増減額 (増減率)
売上高	7,947	8,400	+452 +5.7%
営業利益 (利益率)	775 (9.8%)	780 (9.3%)	+4 +0.6%
経常利益 (利益率)	808 (10.2%)	830 (9.9%)	+21 +2.7%
当期純利益 (利益率)	532 (6.7%)	535 (6.4%)	+2 +0.4%

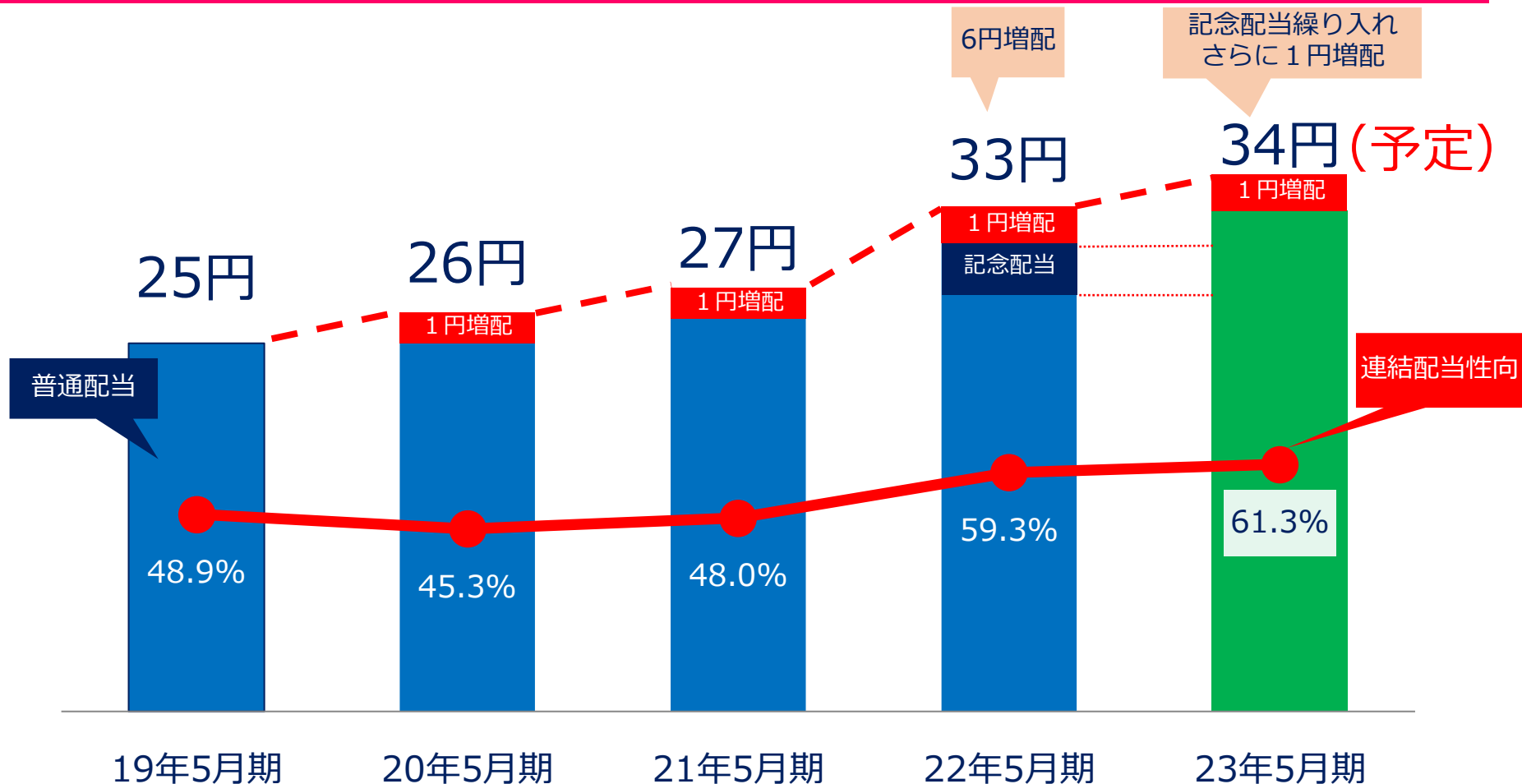
業績の推移



(百万円)	2017年 5月期	2018年 5月期	2019年 5月期	2020年 5月期	2021年 5月期	2022年 5月期	2023年 5月期
	実績	実績	実績	実績	実績	実績	計画
売上高	5,567	6,289	7,215	7,770	7,643	7,947	8,400
営業利益	407	512	615	727	701	775	780
営業利益率	7.3%	8.2%	8.5%	9.4%	9.2%	9.8%	9.3%

配当方針

- ① 安定的配当の継続 ② 連結配当性向概ね50%以上を目標



ソフトウェアで、
社会インフラ分野の安全・安心、快適・便利に貢献します

免責事項

本資料は作成時点での予測や仮説に基づく記述が含まれています。
これら将来の見通しに関する記述についてはその実現を保証するものではなく、
既知、未知のリスクや各種要因により実際の結果、業績と異なることがあります。

お問合せ

経営企画部 部長 長坂啓司

keikibu@jpd.co.jp